

波を利用する多機能型の漁港・漁場施設の開発

水産土木工学部

研究の背景・目的

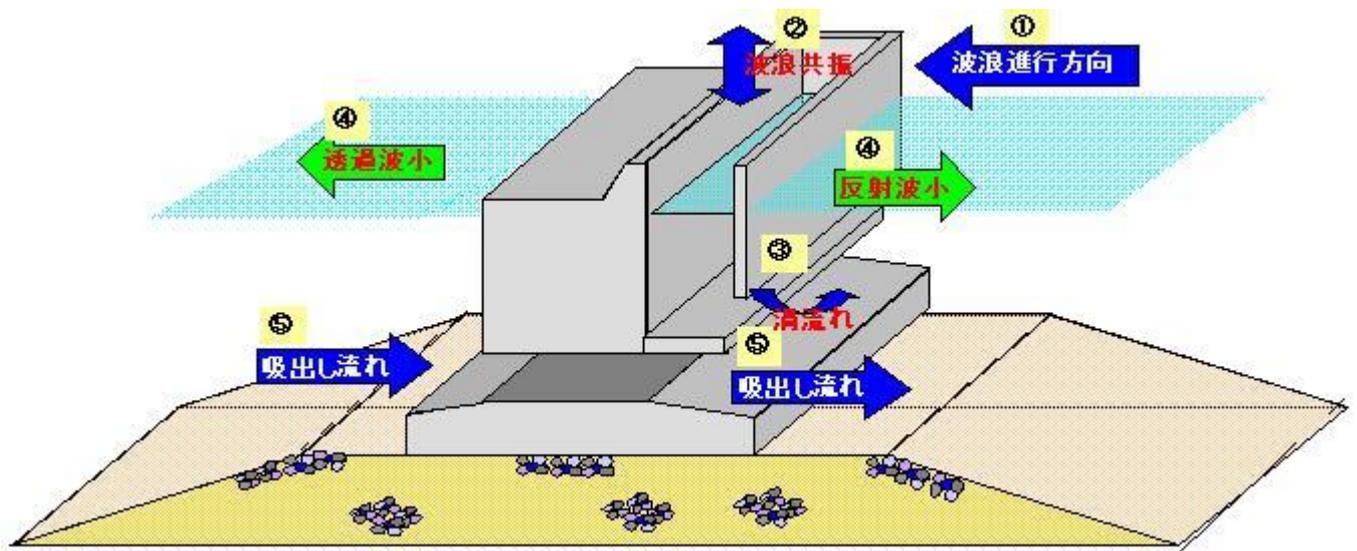
1. 海水交換の促進による水産資源の生息環境となる漁港・漁場海域の積極的な保全・創造
2. 消波構造体を用いた漁港・漁場海域の静穏化

研究成果

1. 多段潜堤式や円孔式といった波を利用する海水交換施設の開発
2. 波による渦流れを制御する海水交換促進型防波堤の開発及びその内部渦流を利用する波力発電の基本原理の開発
3. 高い消波性能を実現する消波構造体の開発

波及効果

1. 良好な水環境を創出することにより衛生的かつ安全な水産物の供給体制の確保及びつくり育てる漁業の推進に寄与
2. 自然エネルギーのひとつである波浪エネルギーを利用した波力発電が期待
3. 港口部や港内の静穏性が高まることに伴う海難事故の防止や出漁機会の増加



波による渦流を利用する海水交換促進型防波堤

(開発システム研究室, 水理研究室・大村智宏)